

内水ハザードマップの見方

～浸水の危険に近づかないために～

近年、短い時間で大雨が降る「ゲリラ豪雨」が多発しています。また、宅地化の進展により、アスファルト等が多くなり、市内でも雨水を排水しきれない「内水による浸水」が発生する可能性が高くなってきました。

局地的な豪雨に伴う浸水から身を守るため、「内水(浸水)ハザードマップ」を作成しました。

このマップには、避難所の位置など避難に役立つ情報や災害時に備えるための情報が載っていますので、日ごろから災害に備えてください。

いざ！というときのためのハザードマップ使用法

★自宅の浸水表示を確認

自分の家や付近の想定される浸水の深さを確認しましょう。

★気象や防災に関する情報を確認

気象情報の取得先(情報のありか)や、家庭でもできる浸水対策の方法を確認し、浸水から身を守る手段を身につけましょう。

内水被害とは??

内水（ないすい）とは…

河川の水を外水（がいすい）と呼ぶのに対し、堤防で守られた内側の土地（人が住んでいる場所）にある水を内水と呼びます。大雨が降ると、下水道や側溝、排水路だけでは降った雨を流しきれなくなることがあります。このように、内水の水はけが悪化し、建物や土地・道路が水に浸水する被害を「内水被害」といいます。

**マップを見て、避難所の場所
役立つ情報を確認してね！**



○お問合せ先○

結城市上下水道部下水道業務課・施設課 TEL : 0296-34-1612